

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 河港水門周辺 】

NO	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
1	堤防の余裕高さ1.5mは何のためにあるのか。HWL以上の出水も一応念頭においているからです。よって、想定外は成り立たない。余裕高も前提としてゲートを補修すべきであった。	<p>昭和3年に完成した河港水門については、周辺の堤防天端高より低い状況となっておりますが、水門ゲートの高さが多摩川の計画高水位を満たしており、これまで扉体上部からの越水がなかったことから、水が溢れることを想定しておりませんでした。こうしたことから、河港水門については、周囲の堤防高さまで鋼板による既存ゲートの嵩上げを行いました。</p> <p>また、さらなる対策として、既存の水門前面に周囲の堤防と同じ高さの止水壁を新たに設置する工事を本年12月までに行っておりま</p>
2	港町公園から水門に向けてのカメラを設置して欲しい。	<p>河港水門については、周囲の堤防高さまで鋼板による既存ゲートの嵩上げを行うとともに、水位計や監視カメラを設置したことから、カメラ等からの情報をリアルタイムで市民の皆様にご覧いただけるよう本市ホームページで公開しております。</p> <p>御要望のカメラ設置については、この度の対策効果の検証等が必要なことから、現在のところ難しいものと考えております。</p>
3	台風15号でも浸水したんですか。柵の対策で大丈夫なのか不安です。どれくらいの集水能力がアップしたのでしょうか。またそれで被害が出ないのか検証した結果を示してもらいたいです。	<p>雨水が柵に流入しやすくする対策として、地盤が低く雨水が集中しやすい箇所に柵を増設しているほか、開口部が多い蓋に交換いたしました。</p>
4	今後も大型の台風は来ると思うので何mくらいの堤防としたらよいか検証して報告してほしい。	<p>河港水門については、周囲の堤防高さまで鋼板による既存ゲートの嵩上げを行いました。</p> <p>また、堤防への御要望については、多摩川の管理者である国土交通省にお伝えさせていただきます。</p>
5	検証の結果安全が担保できないなら、何らかの手当をしてほしい。家賃補助や減税など検証したのに結果が出せなかったら補助してほしいと思います。	<p>今回の浸水被害については、多摩川上流で過去最高の雨量を観測した豪雨により、石原水位観測所などで計画高水位を超える既往最高水位を記録する程の自然災害に見舞われたことに起因するものと考えております。今後は、令和元年東日本台風の浸水状況を踏まえた様々な対策を着実に推進するなど、浸水被害の最小化に向けて取り組んでまいります。</p>
6	水門内の水質はすぐに悪化するため早期に後地の計画策定が必要。住民のためになる利用を求める。	<p>中長期対策として、高規格堤防や水門機能の見直し、河港水門周辺の土地有効活用等、今後の水門及び周辺整備のあり方について、庁内関係部署をはじめ、多摩川の管理者である国土交通省や地域関係者などと検討を進めてまいります。</p>
7	HP等を活用すること、災害時アクセス集中しても良いように国交省とのリレクも。川崎市災害情報は災害時アクセス集中し見れない場合有。	<p>防災行政無線の放送のほか、放送内容を電話から確認できるテレホンサービス、Lアラートによるテレビ等各メディアや防災アプリへの情報配信、市ホームページへの掲載やかわさきFMによる放送、防災情報システムによる登録制メール、Twitterの配信といった手法を用いて災害時の情報発信の充実を図っておりますが、アクセスが集中する場合がございますので、入手可能な手法により各自で入手をお願いいたします。</p>

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 河港水門周辺 】

NO	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
8	12月の説明会時に20時代に消防より連絡が入っていたが、甘く見ていて知らせなかった件はどの用にお考えか？	<p>港町地区の浸水については、10月12日の22時35～40分にかけて消防や警察からの連絡により初めて把握いたしました。その後、ただちに現場状況の確認を行いました。排水等の対応ができる規模を越えていたため、通行止めの措置やポンプ車の手配など関係機関との調整を行ってまいりました。</p> <p>今後は、水門付近の状況をリアルタイムに把握するために設置した水位計やカメラからの情報をもとにした、避難情報等を発信してまいります。</p>
9	土のうについては前もって配ることはできないのでしょうか？(他ではしています。)	<p>土のうについては、道路公園センターにおいて事前に必要な方にお渡ししております。併せて、港町公園に新たに整備した土のうステーションも御活用ください。</p>
10	ネットができない年配の方は、市から連絡を入れてくださるのですか？	<p>避難に関する情報については、メールニュースかわさき等ネットワークを活用したもののほか、区の広報車や消防車両が現地を巡回し、市民にお伝えしてまいります。</p>
11	責任を負う負わないの回答は難しいと思いますが、川崎市、味の素、被災側が互いに納得し、和解するラインの解決するまで、まだまだ時間が掛かるとと思いますが、引き続き住民説明の場の提供を今後もよろしくお願い致します。	<p>今後、中長期対策を含め、対策の進捗にあわせて、状況等をお知らせしてまいります。</p>
12	水門のゲートの高さを堤防と同じ高さまで嵩上げし、さらに同じ高さの止水壁が必要なのか？その予算を使うならば船溜りを埋め立て公園、広場等を作ってはどうか？将来的に水門を撤去し、国の登録有形文化財の一部を残し、河港水門跡地として残してはどうか？	<p>令和2年度台風シーズンまでに対応するため、暫定的に水門の嵩上げ工事を実施してまいりまして、現在、より一体的な構造として水密性を高めるため、止水壁の設置工事を実施してまいります。</p> <p>また、中長期対策として、高規格堤防や水門機能の見直し、河港水門周辺の土地有効活用等、今後の水門及び周辺整備のあり方について、庁内関係部署をはじめ、多摩川の管理者である国土交通省や地域関係者などと検討を進めてまいります。</p>
13	土のうステーションの設置について港町周辺の住宅の件数を把握しているか？約70袋の常備以外で土のう袋は何枚用意されているのか？100枚200枚では足りない。1000枚以上必要！1軒に何袋必要なのか？シミュレーションしているのか？砂の用意は直ぐに出来るのか？砂の量の確保は？高齢者が多いため1袋持つだけでも大変では。一輪車、リヤカー必要では？また、スコップは何本用意しているのか？エンジンポンプ等の説明も必要では。作成しやすいピーピーワーカー（別紙）も準備したほうが良いと思います。対策をしているだけでなく、もっと住民のことを考え寄り添って考えてもらいたい。	<p>土のうステーションは、災害発生時に周辺の方々が速やかに土のうを確保できるよう準備しているもので、約70袋の土のうを用意しております。その他に、道路公園センターにおいて事前に必要な方に土のうをお渡ししております。</p> <p>港町公園には、土のうステーション内の土のう70袋の他に、土のう袋200袋、スコップ2本、砂を土のう袋に入れるための筒2本を配備し、砂については台風が予想される場合に準備いたします。土のうの補充などについても、適宜対応してまいります。</p> <p>また、土のうの作り方については、当該箇所に掲示するとともに、地域の防災訓練等の機会を通じて周知してまいります。</p> <p>エンジンポンプについては、器具が重く操作方法が複雑なため、本市職員が操作いたします。</p>

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 河港水門周辺 】

NO	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
14	<p>台風の風雨の中、土嚢を積むのは現実問題として無理だと思います。それは市民の仕事なのではないでしょうか？</p> <p>こちらに使用を投げられても「一度使った土嚢は戻さない」旨書いてありますし、使用のタイミングを躊躇します。使用後の土の処分方法もわかりません。</p> <p>また、あの程度の量の土嚢(土嚢ステーション)で何を防ぐのか目的がわかりません。</p> <p>さらに袋と土を配るので土嚢を作るようにとの説明。いつ、誰がやるのですか？</p> <p>台風19号に関しては、水は音もなく流れ込み気づいた時には自宅の裏が川のようになっていました。経験していない皆さんにはわからないことかもしれませんが、もっとこちらに寄り添った対策をお願いします。</p>	<p>台風や大雨の恐れがある場合には、必要に応じた対策をご自身で事前に行っていただくようお願いいたします。</p> <p>使用後の土のうの処分については、「川崎ごみ分別アプリ」より、土は少量ずつ普通ごみとして、土のうの袋についても普通ごみとして処分をお願いいたします。</p> <p>土のうステーションは、災害発生時に周辺の方々が速やかに土のうを確保できるよう準備しているもので、約70袋の土のうを用意しております。その他に、道路公園センターにおいて事前に必要な方に土のうをお渡ししております。</p> <p>港町公園には、土のうステーションの土のうが不足した場合でも、迅速に土のうを御使用いただけるよう、土のう袋やスコップ等を常備しておりますので、大変お手数ですが、皆様で土のうを作製いただき、御活用ください。</p> <p>土のうの作り方については、当該箇所に掲示するとともに、地域の防災訓練等の機会を通じて周知してまいります。</p>
15	<p>水門の開閉について、水門の嵩上げの説明の時はもう開閉はしないと切り切ったにもかかわらず、その後の有効利用の資料、説明では開閉できるように残すべきか…と矛盾した説明がされました。どちらなのでしょう。</p>	<p>嵩上げ及び止水壁の設置工事により、扉体の開閉ができなくなり、水門としての機能が失われることを御説明させていただきましたが、高規格堤防や水門機能の見直し、河港水門周辺の土地有効活用等、今後の水門及び周辺整備のあり方について、庁内関係部署をはじめ、多摩川の管理者である国土交通省や地域関係者などと検討を進めてまいりますので、仮に水門機能を回復することになった場合でも、しっかりと止水機能を確保してまいります。</p>
16	<p>水門を、閉め切ってもドックの水は溜まったままです。水の流れがない分、水質の悪化、それによる悪臭の発生はないか、また、想像以上の雨が降り、ドックの汚染された水が流れ出たとしたらという不安水を早く抜いていただけないでしょうか。</p>	<p>河港水門の船溜まりの水については、環境対策の専門部署と相談しながら、経過観察を行い、適切に管理してまいります。</p>
17	<p>水門の嵩上げは当然理解できますが、止水壁はなぜ必要なのでしょう？強度を増すためなのか？ 今後水門を開ける予定がない等でしょうか？</p>	<p>令和2年度台風シーズンまでに対応するため、暫定的に水門の嵩上げ工事を実施しております。現在、より一体的な構造として水密性を高めるため、止水壁の設置工事を実施しております。そのため、現在のところ、水門を開ける予定はございません。</p>
18	<p>水門は歴史的遺産でもあり開閉できないのであれば遺産価値が減少するので、開閉できることを前提に検討をお願い致します。(開閉できないということは、水が滞留してしまうのではないのでしょうか？その結果埋め立てということになるのではないのでしょうか？)</p> <p>船溜りの再利用はヨット、ジェットスキー、クルーザー等係留場にできないか？市民が集う多摩川遊覧ポート等にできないか？埋め立てることなく当面現状のままにして妙案を待つ等。</p>	<p>中長期対策として、高規格堤防や水門機能の見直し、河港水門周辺の土地有効活用等、今後の水門及び周辺整備のあり方について、庁内関係部署をはじめ、多摩川の管理者である国土交通省や地域関係者などと検討を進めてまいります。</p>

【 河港水門周辺 】

NO	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
19	<p>水門の高さが周辺の土手よりも低いことを事前に周辺住民に周知しなかったのは何故ですか？公に公表されていればこのような土地に自宅を購入しようとは思はなかった。水門が低いことを知っていて補修工事をしなかったと言うのなら、そのことを周辺住民に知らせるべきではないのですか？</p> <p>味の素は出水に気が付いてすぐに市や消防に連絡しなかったこと、周辺住民に知らせなかったことは謝罪してくれました。市は始めから水門が低いことを知っていても、市民には知らせていなかったことによる被害についても責任はないのですか？住宅は動かせないが、車や大切な思い出の品などは守れたはずですか？</p> <p>前回の説明会で「まさか水門から水が越水するとは思わなかった。」と市の職員が言いましたが、水門の高さが低いこと知っている人がまさか超えるとはという状況で、何の情報もない市民が情報を持っている人たち以上に危機と考えるのでしょうか？</p> <p>水門を閉めた時に、溢れるならここからという意識はなかったのでしょうか？水門が低いことを知っていたなら、水門の監視をするべきだったのではないですか？</p> <p>上流のカメラを見ていれば、140センチも低い水門が危ないと気づけたはずですか？誰も見ていなかったのですか？水門が危ないと感じていた人は、市の職員の誰もいなかったのですか？分かっている黙っていたのですか？</p> <p>情報を住民に知らせずに起きた被害に市の責任はないのでしょうか？</p>	<p>昭和3年に完成した河港水門については、周辺の堤防天端高より低い状況となっておりますが、水門ゲートの高さが多摩川の計画高水位を満たしており、これまで扉体上部からの越水がなかったことから、水が溢れることを想定しておりませんでした。</p> <p>今回の浸水被害については、多摩川上流で過去最高の雨量を観測した豪雨により、石原水位観測所などで計画高水位を超える既往最高水位を記録する程の自然災害に見舞われたことに起因するものと考えております。今後は、令和元年東日本台風の浸水状況を踏まえた様々な対策を着実に推進するなど、浸水被害の最小化に向けて取り組んでまいります。</p>
20	<p>説明会での説明では、多摩川からの越水量の計算はできないという回答でしたが、説明会での資料データをもとに、こちらで計算してみました。もちろん、計算上の仮定に想定値が多いのですが、大局的な点では間違っていないと思っています。計算結果については、次項以下に示してあります。</p> <p>結論から申し上げますと、工場からの出水が水門のゲートからの越水よりかなり多いという結果になりました。水頭差も出水（越水）時間も工場からの方が大きいので、ごく自然な結果かなと思っております。従いまして、もし越水による浸水が、水門からだけであったのであればしたら床上浸水した住宅はなかったのではないかと推測しております。（我が家は床下浸水でしたが車が廃車になりました。）</p> <p>覆水盆に返らず、起こってしまったことをあれこれ言うつもりはありませんでしたが、前回の説明会で味の素の工場からも出水あったことを知りました。そして、ある方がされた、工場からの出水と水門からの越水の量はわかりませんかという質問に対して、わかりませんという回答でした。その時、私は計算できるはずだと思って、計算できるのではありませんかと質問しました。回答はできませんでした。しかし、こういった水理計算ができないのであれば河川構造物の設計などできないはずですか？実際どうだったのか把握したかったので、物理的にイメージするために計算してみましたということです。計算してみましたら、2か所の出水量に大きな差があったとしか考えられないということです。</p> <p>上記の事を踏まえまして質問です。</p> <p>①出水量の計算結果につきまして、そうではないという見解がありましたら数値でこのようになるとお示しいただけませんか。</p> <p>②もし、このように出水量が違うことを把握されていたのであればしたら、その件を回答できなかったのは、行政側は納税の多い企業をかばっているからだとして理解してよろしいですか？</p>	<p>本市が実施した検証では、確認できている多摩川の水位と河港水門などの測量値に基づき、水位計データから換算した水位や河港水門扉体上部と周辺工場の取水施設天端高さなど限られたデータから、出水及び越水の時間を算出しているものとなります。</p> <p>そのため、出水量を正確に算定することはできないことから、河港水門及び周辺工場からの出水量をお示しすることができませんでした。</p>

【 河港水門周辺 】

NO	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
21	<p>市は水門が計画高水位を満たしているから越水の責任はないと言います。計画高水位とは堤防などを作る際に洪水に耐えられる水位と指定する最高の水位とあります。水門は計画高水位より15センチ高いから越水するとは考えなかった。周辺住民に知らせる必要がなかった。と市は説明しました。今まで水門から越水したことがないから越水することはないと考えていたとも言いました。台風19号当日は特別警報が発表されています。特別警報とは経験したことのないような異常な現象が起きうる状況で、かつ、それまで数十年間災害の経験がない地域でも災害の可能性が高まっている状況とあります。</p> <p>川崎市は予想以上の災害が起こると特別警報が出てる中、15センチしか余裕のない水門が安全だと判断した。だから、周辺住民に水門のところだけが他の土手より140センチも低いことを知らせる必要はなかった、ということで間違いないでしょうか？私は台風当日、テレビでニュース、パソコンで戸出船着場のライブカメラ、携帯では雨雲レーダーを見ていました。私の見た感覚ですと、戸出船着場のカメラから見ていた最高水位は土手を越水するまで50センチほど（1メートルはなかった）に見えました。テレビでも多摩川の状況が常に映し出され、いつ越水してもおかしくないと恐怖を感じながら見ていました。でも、あと50センチとはいえ、川幅は広いし、土手が決壊しない限り全体から少しずつ溢れるのであれば、自宅が浸水するほどではないと判断しました。でも、自宅側の水門が周辺の土手より140センチも低いことを知っていれば浸水は予測できたと思います。でも、水門が140センチも低いこと一般市民は知る術はなかった。台風当日、ライブカメラを見ながら、リアルタイムで災害を予測することは川崎市ではやらないのですか？テレビでは氾濫危険水位を超えていると、過去最強クラスの台風とも報道もしていました。予想を超える災害は市の責任ではないから、関係ないから台風当日は何もしていなかったということでしょうか？だから、港町の浸水を翌日消防からの連絡を受けるまで知らなかった。ということですか？※質問の文書は抜粋しないでください。</p>	<p>昭和3年に完成した河港水門については、周辺の堤防天端高より低い状況となっておりますが、水門ゲートの高さが多摩川の計画高水位を満たしており、これまで扉体上部からの越水がなかったことから、水が溢れることを想定しておりませんでした。</p> <p>港町地区の浸水については、10月12日の22時35～40分にかけて消防や警察からの連絡により初めて把握いたしました。その後、ただちに現場状況の確認を行いました。排水等の対応ができる規模を越えておりましたため、通行止めの措置やポンプ車の手配など関係機関との調整を行っておりました。</p> <p>今後は、水門付近の状況をリアルタイムに把握するために設置した水位計やカメラからの情報をもとにした、避難情報等を発信してまいります。</p>
22	<p>9月1日の説明会で、工場の地盤が50cmの地盤沈下していたとの説明に関連した質問です。</p> <p>川崎市側では、味の素の工場内の敷地で50cmの地盤沈下が発生していることを把握していましたか。工場内の敷地を建設する時に建築確認申請を提出すると思いますが、建築確認申請では、基礎形状も確認できるはずですので、建築確認申請には、地質データや柱状図が添付されて、そのデータに基づいて基礎の設計がなされているはずですが、昨年も敷地内で建物が解体新築されているはずですが。（2019年8月27日に我が家のポストに工事案内と回鍋肉とほんだしが入っていました。）これまで建設された敷地内建築物の確認申請時の図面を見れば、設計の地盤レベルが時系列でわかるのではありませんか。</p>	<p>本市としては、味の素株式会社の工場内の敷地で50cmの地盤沈下が発生していたことについて、味の素株式会社による検証により初めて知った情報であり、把握はしておりませんでした。</p>
23	<p>川崎市側では、地盤沈下の原因を把握されていますか。地盤沈下の主な原因は地下水の汲み上げだと思います。工業用水が多摩川から取得される前は、地下水を使用されていたのでしょうか。（地下水を工業用水として利用する場合は市へ届出が必要になっていると思いますので。）</p>	<p>本市としては、味の素株式会社の工場内の敷地で50センチメートルの地盤沈下が発生していたこと及び、その原因は把握しておりません。</p> <p>また、地下水の使用についても、確認できませんでした。</p>

【 河港水門周辺 】

NO	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
24	<p>先日の説明会で、工場の取水口は閉じて、工業用水に切り替えたとの説明が工場側からありました。切り替えられた工業用水は、地下水の汲み上げによる工業用水ですか、川崎市上下水道事業の工業用水管から供給される工業用水ですか。(いずれも川崎市の許認可が必要だと思いますので、質問します)</p> <p>質問は上記の3点です。</p> <p>なぜ、このようなことをお聞きするかわかりますと、今回の出水の原因の一つに地盤沈下の問題があるからです。地盤沈下の原因が地下水の汲み上げであり、今回、川からの出水をやめ、地下水利用を再開するということであれば、今後地盤沈下が工場敷地内でのみ地盤沈下するのであれば、とやかく言う立場にはありませんが、今回の取水のように周辺地域の地盤沈下が発生すれば、また違う災害になってしまうと思います。従いまして、その懸念を払しょくしていただきたく、回答をいただければ問題ないです。</p>	<p>本市上下水道局の工業用水を使用していると味の素株式会社より伺っております。</p>